

2024 年度・友愛労働歴史館・事業報告

友愛会系労働運動の歴史資料館として2012年8月に新装オープンした友愛労働歴史館は、「先達者のメッセージを読み解き、再発信する」ことをスローガンに①展示会・講演会の活動、②資料の収集・管理、調査・研究の活動、③情報発信・PRの活動などに取り組んできた。

2021年、新型コロナウイルス対応による日本労働会館の業務見直しに伴い、展示室や書庫の縮小・移転、研修室の廃止、所蔵資料の見直しなどを行った。9月14日に展示会活動を再開し、常設展「日本労働運動の100年余」をオープンした。

2024年度は、新型コロナウイルスの勢いも落ち着き、サービス・観光業、小売り・外食業など業績は好調を呈し、日経平均株価は最高値を出すなど景気は回復局面となり、当館は縮小オープンから3年目を迎えた。

2024年度(2024.4.1～2025.3.31)の事業活動は次の通り。

I 展示会・講演会活動について

1. 展示会(企画展・常設展)活動

展示会活動は常設展と企画展を開催してきた。

(1) 常設展

「日本労働運動の100年余-友愛会・総同盟(戦前)を中心とする」は、2012年8月1日のオープン以来、原則同一内容で開催している。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という格言から、労働運動の歴史は不変であるとの思いから常設展を開催している。

来館者の推移をみると、2024年、4月76名、5月81名、6月123名、7月114名、8月62名、9月22名、10月10名、11月36名、12月89名、2025年、1月188名、2月89名、3月38名となった。今年度の通算(2024年4月～2025年3月)928名が来館した。

新型コロナに関わる規制緩和とともに団体見学も回復傾向であるが、元に戻る気配はない。また、コロナ禍の規制緩和の中でも団体移動に懸念する組織から出張講演を望む声が大きくなり、2022年1月より出張講演を積極的に受けることにした。そして、出張講演の受講者数を来館者数に加味することとした。出張講演・受講者数は2024年4月～2025年3月で489名、全体の52.7%にあたる。

なお、今年度から出張講演にかかる講師の交通費を日本労働会館持ちにすることを決めた。4月中にすぐに支援団体に通知はしたものの、その効果は今のところ表れていない。期中の案内通知であり、各単組の今後の新年度の動向を注視したい。

2012年8月1日の新装オープン以来の延べ入館者数(名)は、13,995名(2025年3月末日現在)となった。

(2) 企画展

当面の方針で展示室での開催はしていない。

2.講演会活動

(1) 講演会

当面の方針で開催せず。

(2)出張講演

2022年度から賛同会員の組織等から講演依頼については積極的に受けている。コロナ禍で集団移動に懸念をする組織が多く、出張講演は好評を得ている。14出張講演中、新規は5団体となった。

- ① 4月10日(水)～11日(木)・UA ゼンセン流通部門・ダイエーユニオン・伝承塾「枝垂桜」6名
伝承塾も4講座のうち3講座目となり、政治について学ぶ機会となった。友愛会発足以降、リーダー自らが各級議員を兼務しつつ、民主的労働組合の確立を進めることの重要性。法治国家でありながら理不尽な法との対峙など、現代の政治活動と選挙活動の重要性を学び、公職選挙法について考察した。具体的には、現職の女性議員(福岡市南区・近藤里美市議会議員)より、議員活動と市議会での意思決定、労組出身のメリットなど生の声を拝聴した。
- ② 6月12日・UA ゼンセン流通部門・流通カレッジ 25名
6月12日(水) 出張講演・UA ゼンセン流通部門・流通カレッジの25名に対し「次代を担う流通労働運動のリーダーに期待すること」を講演した。そこには、常設展示「日本労働運動の100年余」を解説。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、共産主義の上陸、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を前提に講和。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、過去を学ぶことで現代の運動とか未来の運動が見えると講和。労使関係論と企業統治、生産性運動三原則の変遷、最後に鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を伝えた。
- ③ 7月6日(土)・UA ゼンセン流通部門・イオン九州ユニオン・中央執行委員会 72名
UA ゼンセン流通部門・イオン九州ユニオンの中央執行委員会 72名に対し、「未来に向け労働組合が果たすべき役割」～組織力向上のため労働組合の存在意義とリーダーに求められるもの～を演題として120分の講演をした。歴史は未来を見る鏡であるとして、常設展示の「日本労働運動の100年余」に加えて、友愛会や社会主義運動など「友愛会の運動の詳細から民主的労働運動を探る」と称し、現代につながる運動の流れを講演。
期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の講演を説く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」「生産性運動三原則の変遷」「今必要なリーダーシップ」など盛り沢山。鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学んだ。
- ④ 7月10日(水)～12日(金)・UA ゼンセン流通部門・ダイエーユニオン伝承塾「枝垂桜」6名

UA ゼンセン流通部門・ダイエーユニオン伝承塾「枝垂桜」の6名が年間4回の最終回として受講。すでに常設展示の「日本労働運動の100年余」に加えて、友愛会や社会主義運動など「友愛会の運動の詳細から民主的労働運動を探る」と称し、現代につながる運動の流れは受講済。各自が課題の発表後、労働組合の企業統治のあり方(コーポレートガバナンス)、生産性運動三原則の変遷、政治の必要性和自由にして民主的な労働運動、次世代リーダーへの期待を受講した。活発な発表と質疑を通して、今後の運動に役立てることをお互いに誓い合った。

⑤ 8月27日(火)UA ゼンセン流通部門・伝承塾「惟一塾」(逢見直人塾長) 16名

UA ゼンセン・流通部門「第四期 惟一塾」の要請により、藤吉館長が出張講演をしました。演題は「次世代に期待すること」。内容の要点は、産業別労働組合の役割と責任、流通労働組合の位置づけ、労働運動と政治、私たちの労働運動思想、同盟的なコーポレートガバナンス(企業統治)の具体的なあり方、生産性運動三原則の今日的な理解、生産性経営への転換をどう図るか、あるべき労使関係は友愛会から同盟への発展の中にあり。など二泊三日で若い塾生たちと膝を交えて、飲み、語り、話し合い、大変中身の濃い時間を過ごした。参加者の皆様の熱心な姿に、明るい未来を感じた。

⑥ 11月5日(火)日産労連「議員団研修会」組織内議員、擁立労組、政治担当 30名

11月5日(火)、日産労連の「議員団研修会」と銘打って、組織内議員、擁立労組、政治担当者30名に対し、常設展示「日本労働運動100年余—友愛会を中心に—」と戦前の社会民衆党、社会大衆党戦後の社会党、民社党の歴史を交え、講演を行った。歴史は未来を見る鏡であるとして、常設展示の「日本労働運動の100年余」に加えて、友愛会や社会主義運動など「友愛会の運動の詳細から民主的労働運動を探る」と称し、現代につながる運動の流れを講演。

期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の講演を説く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」など盛り沢山。鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学んだ。

⑦ 12/09(月)~11(水)UA ゼンセン流通部門・「正道塾①」 17名

労働組合の組織の強化を目的に、人材育成の一助として、運動家としての人間性と品格を高め、労働運動の精神を正しく継承できるリーダーを育成するため、年間、二泊三日を3回にわたり、11講義、11演習、5視察から学ぶ予定。「歴史は未来の鏡である」「過去は変えられないけれど、未来は変える(創る)ことができる」という様に、①日本労働運動の100年余の歴史 ②流通労働運動の歴史と今後の課題～政策と政治課題～ ③民主的労働運動を探る・労組の役割と責任 ④労働組合が政治・選挙に取り組む理由 ⑤次代の流通労働運動が抱える課題とその対処法 ⑥生産性運動三原則とコーポレートガバナンス ⑦リーダーの条件とは何か～リーダーに今求められているもの～ ⑧流通産業の動向と労使の政策課題 ⑨政治・選挙 労働組合の必須項目 等を受講。

第一回目は、UAゼンセン中央教育センター(友愛の丘:岡山)にて開催。センター長からゼンセン運動と労働運動の概略と歴史を受講。その後、藤吉館長から「受講にあたっての心構

え」を確認し、演習を挟みつつ「リーダーの条件とは何か～リーダーに今求められているもの～」、「流通労働運動の歴史と今後の課題～政策と政治課題～」、「政治・選挙 労働組合の必須項目」などを受講した。質問も活発に行われ、さらに二晩とも深夜に及び知識と懇親を深めた。

⑧ 12/16(月)～18(水) UA ゼンセン流通部門・ダイエーユニオン伝承塾「枝垂桜①」 7名

ダイエーユニオンの伝承塾「枝垂桜」の第二期がスタートした。開催趣旨は、労働組合の組織の強化を目的に、運動家としての人間性を高め、労働運動の精神を正しく継承できるリーダーを育成するため、年間、二泊三日を4回にわたり、15講義、12演習、7視察から学ぶ予定。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。」あるいは、「歴史は未来の鏡である。」という様に、①日本労働運動の100年余の歴史 ②日本の労働運動から見た流通労働運動の歴史 ③株ダイエーの激動期における労組の役割と責任 ④労働組合と政治の関わり ⑤次代の流通労働運動が抱える課題とその対処法 ⑥民主的労働運動を探る・労組の役割と責任 ⑦実践できるリーダーシップ論⑧生産性運動三原則とコーポレートガバナンス⑨民社党の歴史・百折不撓などを具体的に考え受講。

第一回目は、UAゼンセン中央教育センター(友愛の丘:岡山)にて開催。センター長からゼンセン運動と労働運動の概略と歴史を受講。その後、藤吉館長から「受講にあたっての心構え」を確認し、演習を挟みつつ「したい8原則と実践できるリーダーシップ論」、「労働組合とは？果たすべき役割」などを受講した。各講義の中では、質問も活発で、また日ごろの労働組合活動での疑問など幅広く探求した。

⑨ 1/23(木) UA ゼンセン新潟県支部「2025年新春セミナー」 79名

UA ゼンセン新潟県支部が開催した2025年新春セミナーに参加し、講演を行った。テーマは「労働組合が政治・選挙活動に取り組む理由と勝利するためにやらねばならぬ事」。1912年(大正元年)に友愛会設立以降、常に政治と向き合い、労働組合の政策実現のために各級の政治活動に取り組んだ歴史的な経過。日本社会主義運動から民主的労働運動への流れ、併せて選挙活動の現実と勝利のためのポイントを講演した。友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを強調した。

⑩ 1/31(土) 大阪民社協会 2025新春の集い 研修会 50名

歴史は未来を見る鏡であるとして、常設展示の「日本労働運動の100年余」に加えて、友愛会や社会主義運動など友愛会の運動の詳細から民主的労働運動、現代につながる運動の流れを講演。

期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余を説く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」など盛り沢山。鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学んだ。その後のパーティーにて質問もあり、好評の様子であった。

⑪ 2/04(火) JAM 神奈川統一労働協約委員会・JAM 神奈川共催

2025年「JAM 春季取り組み方針」説明会 36名

JAM 神奈川統一労協の「2025年 JAM 春季取り組み方針説明会」にご参集の労使 36名。「日本労働運動の100年余」を受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を60分受講した。特に大きな争議から学んだ労使関係における団体労働協約の重要性、また同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学んだ。

⑫ 2/10(月)～12(水) UA ゼンセン流通部門・ダイエーユニオン

伝承塾「枝垂桜②」6名

UA ゼンセン・流通部門ダイエーユニオンの伝承塾である「枝垂桜」塾の6名が来館。常設展示「日本労働運動の100年余」を見学・受講。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を90分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学んだ。さらに理解を深めるために、「日本労働運動の100年余から民主的労働運動を探る」と題して友愛会から連合に至る歴史的経過の詳細を受講。受講後は、展示室の見学と日本労働遺産の第一号に認定された「日本労働運動発祥之地」石碑とユニテリアン教会・唯一館煉瓦塀跡を見学し、記念撮影を行った。

⑬ 2/19(水)～20(木) UA ゼンセン製造部門・大阪ソーダ労働組合 10名

2/20(木) UA ゼンセン製造部門・大阪ソーダ労働組合の支部書記長を中心に10名の参加。「日本労働運動100年余」を期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学んだ。各自歴史の重みと政治と労働組合の関係性に感心した様子であった。

⑭ 3/15(土)～16(日) UA ゼンセン富山県支部・富山塾

今回は二部構成になっていました。まず第一部は「日本労働運動の100年余」を受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を80分受講した。特に大きな争議から学んだ労使関係における団体労働協約の重要性、また同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。

第二部では、「したい8原則と実践できるリーダーシップ論」を60分受講。労働者の視点から職場に求めていること8点を具体的に受講した後、「リーダーシップの定義と4つの責任」とリーダーが求められていることを具体的に学んだ。

大変熱心に聞き入った様子であり、その後の懇親会でも大変盛り上がりました。

(3)団体見学

① 4/12(金) UA ゼンセン富山県支部 22 名

常設展示「日本労働運動の 100 年余」を解説。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。その後は、展示室の見学と日本労働遺産の第一号に認定された「日本労働運動発祥之地」石碑とユニテリアン教会・惟一館煉瓦塀跡を見学し、記念撮影を行った。皆さんとっても熱心に受講し見学をしました。

② 4/24(水) UA ゼンセン福岡県支部 32 名

あいにくの雨の中、常設展示「日本労働運動の 100 年余」をダイジェストで受講。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を 45 分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。受講後は、雨天にもかかわらず、日本労働遺産の第一号に認定された「日本労働運動発祥之地」石碑とユニテリアン教会・惟一館煉瓦塀跡を見学し、展示室の見学、展示室内で記念撮影を行った。皆さんとっても熱心に受講し見学をしました。

③ 5/9(木) UA ゼンセン流通部門・マックスバリュー西日本労働組合・ユースメンバー 30 名

マックスバリュー西日本労働組合・ユースメンバー 30 名が、講義「日本労働運動の 100 年余り」をダイジェスト版で受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を 40 分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学と日本労働遺産の第一号に認定された「日本労働運動発祥之地」石碑とユニテリアン教会・惟一館煉瓦塀跡を見学した。皆さんとっても熱心に受講しました。

④ UA ゼンセン総合サービス部門・給食中食部会 15 名

5 月 10 日(金)、会議の途中進行が早まったとのことで、見学要請がありました。丁度館長が在館しており、急遽、解説講演と見学を実施した。

常設展示「日本労働運動の 100 年余」を解説。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。皆さんとっても熱心に受講し見学をしました。

⑤ UA ゼンセン・大阪ガス労働組合 講演と見学 10名

5月17日(金)、UA ゼンセン・大阪ガス労働組合の10名が、講演と見学した。常設展示「日本労働運動の100年余」を解説。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。その後は、展示室の見学と日本労働遺産の第一号に認定された「日本労働運動発祥之地」石碑とユニテリアン教会・惟一館煉瓦堀跡を見学した。皆さんとっても熱心に受講し見学をしました。

⑥ JAM 東海岐阜青年協 見学 11名

5月31日(金)、JAM 東海岐阜青年協の11名が見学。交通事情もあり、大幅に時間短縮。常設展示「日本労働運動の100年余」を見学、せっかくの来館も十分な時間がとれず、惜しむ声もあり。またの来館をお待ちしています。

⑦ JAM 山陽・兵庫東地協 7名

5月31日(金)、JAM 三洋兵庫東の7名が、常設展示「日本労働運動の100年余」を見学。安部解説員の言葉に耳を傾け、大変熱心に時間をかけて見学した様子でした。

⑧ UA ゼンセン岩手県支部 21名が解説・見学

6月4日(火)、UA ゼンセン岩手県支部 21名が、講義「日本労働運動の100年余り」をダイジェスト版で受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を40分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学をした。皆さんとっても熱心に受講しました。

⑨ UA ゼンセン流通部門・ヨークベニマル労働組合・「紅子屋」講演と見学 10名

6月5日(水)、UA ゼンセン流通部門・ヨークベニマル労働組合・「紅子屋」の10名が来館。単組における委員長を塾長とする選抜式の塾。常設展示の「日本労働運動の100年余」に加えて、友愛会や社会主義運動など「友愛会の運動の詳細から民主的労働運動を探る」と称し、現代につながる運動の流れを講演。講演後見学をしました。

常設展示「日本労働運動の100年余」を解説。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の講演を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。皆さんとっても熱心に受講し見学をしました。

⑩ 国際労働財団(JILAF)フィリピン・マレーシアチーム 講演と見学 14名

6月06日(木)、国際労働財団(JILAF)フィリピン・マレーシアチーム14名が、講演と見学をしました。常設展示「日本労働運動の100年余」を解説。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。その後は、展示室の見学、皆さんとっても熱心に受講し見学をしました。

⑪ UA ゼンセン宮崎県支部・男女共同参画委員会 講演と見学4名

6月07日(金)、UA ゼンセン宮崎県支部・男女共同参画委員会 4名が来館。赤松常子さんを中心に講演を要望された。それを受けて、「赤松常子さんの生涯」と「日本労働運動の100年余」を並行的に講演解説した。

特に、赤松さんの総同盟に入局するまで、「被差別部落に入り解放運動」、「関東大震災の時に、賀川豊彦を助け孤児救済活動」。そして、入局。社会民衆党結成に参加。戦後は参議院議員としての活躍、「労基法」「売春防止法」の制定に動く。また「世界連邦建設同盟」で副会長を務めるなど活躍ぶりを紹介した。

⑫ JAM 北関東 解説と見学19名

⑬ JAM 山陽・兵庫西 解説と見学16名

6月13日(木)、JAM 北関東の19名、また6月28日(金)、JAM が山陽・兵庫西の16名が常設展を解説と見学。「日本労働運動の100年余り」をダイジェスト版で受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を聞いた。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学をした。皆さんとっても熱心に受講しました。

⑭ UA ゼンセン本部・新入局員研修 解説と見学合計7名

6月11日(火)に3名、20日(木)に4名が来館。講義「日本労働運動の100年余り」をダイジェスト版で受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を40分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学をした。皆さんとっても熱心に受講しました。

⑮ UA ゼンセン流通部門・コープこうべユニオン9名が来館・見学

7月8日(月)、UA ゼンセン流通部門・コープこうべユニオン9名が、講義「日本労働運動の100年余り」をダイジェスト版で受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余

の解説を 40 分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学をした。皆さんとっても熱心に受講しました。

⑩ 1/09(木) UA ゼンセン埼玉県支部・ヤングリーブス委員会 10 名

UA ゼンセン埼玉県支部・ヤングリーブス委員会の 8 名が来館・見学。「日本労働運動の 100 年余」をダイジェスト版で受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を 40 分受講した。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学んだ。受講後は、展示室を見学した。

⑪ 1/25(土) UA ゼンセン・NCCU ニチイ分会・新任役員実務研修会 37 名

友愛労働歴史館の生い立ちとこの地の重要性。歴史館の展示物の概略を説明した。「日本労働運動 100 年余」を期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を 40 分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学んだ。各自歴史の重みと政治と労働組合の関係性に感心した様子であった。

⑫ 2/21(金) 九州電力労働組合 鹿児島支部 17 名

はるばる鹿児島から 17 名もの大勢での見学。あいにく館長が出張中であり、安部解説員からの解説と DVD の視聴を併用し、「日本労働運動 100 年余」を期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展などを見学。友愛会の旗(レプリカ)を持ち、日本労働運動の発祥の地の記念碑の前で記念撮影を行った。

⑬ 3/17(月) 連合東京新人研修会 3 名

連合東京続の 3 名が来館。展示「日本労働運動の 100 年余」を DVD を視聴。その後さらに解説を受け、見学。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。さらに理解を深めるために、「日本労働運動の 100 年余から民主的労働運動を探る」と題して友愛会から連合に至る歴史的経過の詳細を受講。受講後は、展示室の見学と日本労働遺産の第一号に認定された「日本労働運動発祥之地」石碑とユニテリアン教会・惟一館煉瓦塀跡を見学し、記念撮影を行った。皆さんとっても熱心に受講し見学をしていました。

II 資料の収集・管理作業、調査・研究活動について

友愛労働歴史館は年間を通し、資料の収集・管理に取り組んでいる。また、必要な調査・研究活動に取り組んでいる。

1. 資料の収集・管理

友愛労働歴史館は連合資料室、社会・労働関係資料センター連絡協議会(労働資料協)と連携し、①友愛会から総同盟・同盟までの民主的労働運動、②社会民衆党から社会党・民社党までの民主的社会主義運動、③福澤諭吉や安部磯雄らユニテリアン教会・惟一館(現友愛会館)ゆかりの社会運動に関する資料の収集・管理に取り組んでいる。

(1) 一人前と戦後社会 兎 宗杭(ウージョンウン)・沼尻晃伸 著 献本 2024年4月1日

(2) 2024年8月 エル・ライブラリーより受け入れた複本

水野広徳『民衆政治講座 無産階級と国防問題』(クララ社) 1929

森戸辰男『労働者問題』1919

桑田熊蔵『工場法と労働保険』 1910

菊池勇夫『日本労働立法の発展』 1942

菊池勇夫『労働法の主要問題』 1943

高橋亀吉『日本産業労働論』 1937

商工大臣官房統計課『明治三十三年乃至昭和四年賃銀統計表』 1930

日本工業協会『戦争と労働』 1939

麻生久『生きんとする群』 1923

Paul Périgord『THE INTERNATIONAL LABOR ORGANIZATION』 1926

社会通信社『全国主要労働組合宣言綱領規約集』1946

GHQ 経済科学局『健全なる労働協約より産業民主主義の建設へ』1948

GHQ 経済科学局『紛争処理機関と職場委員制度』 1948

労働省 『内外労働シリーズ第三集 「メーデー」を顧みて』 1948

社会労働協会『労働人事名鑑』 1958

アメリカ大使館広報文化局出版部『アメリカ労働運動小史』 1968

『日本労働年鑑第89集』 2019

『日本労働年鑑第90集』 2020

以上18点の除籍図書受け入れ

(3) 黒沢博道氏より寄贈 2025年2月18日

① 「回顧九十年」 高橋正則

② 盾・民社党青年隊1万名達成記念

(4) 長尾務生氏(春日一幸元秘書)より寄贈 2025年2月18日

「春日一幸揮毫」3点(うち一点は軸装保存)

(5) 「治安維持法と無産政党」 成蹊大学 渡部 亮氏より寄贈 2025年2月25日

2024 度中間期は、上記(1)～(5)の労働運動、社会運動関連資料の寄贈を受けた。また、書籍など資料のリユースを行う労働資料協に加盟し、各種資料や情報の入手に取り組んでいる。

友愛労働歴史館には今まで個人・団体から寄贈を受けた資料が未整理状態にあった。それらは当館倉庫(友愛会館地下 1・2 階)に保存していた。10 月に専門業者によるカビ除去、整理を行い、保存か否かの判断を行い整理した。また、8 階の民社党関連、書庫にある所蔵品のリスト化と再整理を進めた。

また、本棚に落下防止のストッパーを 12 月に設置。運動史など資料の電子化を完了した。

2. 調査・研究活動

友愛労働歴史館は常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」、「政治・社会運動史研究会」の 2 つを設置している。2024 年度は、「政治・社会運動史研究会」の「証言集」編集委員会から、『民社・同盟ブロック証言集』を発行した。

III 情報発信・PR 活動について

友愛労働歴史館は、インターネットを利用したメールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信、ホームページでの情報提供・PR などに取り組んでいる。また、研究者・学生等への相談対応、資料提供などに取り組んでいる。

1. メールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信

2024 年 4 月以降 10 月の間、199 号(4 月 25 日)、200 号(6 月 03 日)、201 号(7 月 02 日)、202 号(8 月 05 日)、203 号(9 月 03 日)、204 号(10 月 01 日)、205 号(11 月 01 日)、206 号(12 月 02 日)、207 号(01 月 07 日)、208 号(02 月 03 日)、209 号(03 月 03 日)まで発信。2025 年 02 月末現在のメールアドレス登録者 802 名である。減少理由は、人事異動などによる送付先のメールアドレスの不使用による。

友愛労働歴史館 E メールアドレス yuairodorekishikan@rodokaikan.org

2. 労働歴史館ホームページ

友愛労働歴史館は情報提供用にホームページ <http://www.yuairodorekishikan.com> を開設し、随時更新している。

3. 労働歴史館・公式ツイッター、その他による発信



友愛労働歴史館はX(エックス、旧ツイッター)「@yuaireshi1912」で情報発信している。その他、当館常設展チラシ、その他を活用し、紙媒体での PR 活動を行っている。また、希望者へ当館

紹介用スライド「ようこそ友愛労働歴史館へ」、企画展開設スライド「総同盟・産別会議から新産別・総評へー1946～1950 年の労働運動ー」、常設展開設スライド「日本労働運動の 100 年余」などのデジタル情報を提供している。

IVその他

1. 労働歴史館は所蔵する資料を活用し、民主的労働運動や民主社会主義運動、ユニテリアンゆかりの社会運動に関する研究者・学生の調査・研究に協力している。また、これら資料の閲覧者へ便宜を図っている。そのため書庫横に「資料閲覧室」を設置し、閲覧コーナー(定員3名から8名に増強。スキャナー完備)を設けた。これらは当館調査研究員の利用も想定している。
2. 社会・労働関係資料センター連絡協議会(労働資料協)の2024年度第39回定期総会と研修会が、11月11日～12日、専修大学(神奈川県川崎市)で開かれた。初日は、総会を開催。2023年度活動報告の確認、2024年度の事業活動の確認などを行った。その後、東京都目黒区にある日本近代文学館等で研修を行った。労働資料協は労働運動や社会運動の資料のリユースを行う団体で、大原社会問題研究所・連合資料室・東京都労働資料センター・同志社大学人文科学研究所・大阪産業労働資料館(エル・ライブラリー)など23の加盟機関と個人会員から構成されている。